

## ★公益財団法人JKA様の補助金を受け、特殊浴槽の整備を行いました。

補助事業番号 2025MA2552-013  
 補助事業名 2025年度 福祉機器の整備 補助事業  
 補助事業者名 (福) オレンジの会

### 1 補助事業の概要

高齢者人口の増加や老々介護、人材不足や職員の高齢化、労働環境の過酷さ等の社会情勢の中、公益財団法人JKA様の補助事業を活用し特殊浴槽の整備を実施。

既存の特殊浴槽は、12年間使用していて、商品耐久年数が大幅に超過しており、修理部品が廃盤となって供給が困難で安全性の継続が確保できないが、新機種には最新機能が搭載されており、重度な要介護者に安全な入浴のニーズに応えていくことや介護者の身体的な負担の軽減を図ることができる為、公益財団法人JKA様の補助事業を受け、特殊浴槽を整備することで、衛生且つ効率的に入浴サービスを提供していくことが可能となる。

補助事業名	2025年度福祉機器の整備 JKA補助事業
事業完了日	2026年6月30日
総事業費	7,466,250
助成金額	5,599,000
実施場所	特別養護老人ホームオレンジ荘

### 2 本事業により導入した機器

①特殊浴槽一式（特殊浴槽（チェア型）1台、入浴用車椅子1台）

(URL)<https://www.sakaimed.co.jp/catalogue/2025/#page=312>

設置場所：【特別養護老人ホームオレンジ荘】

2階 機械浴室

②本事業に係る印刷物等

(URL) <https://www.orange.or.jp/>

### 3 予想される事業実施効果

- ・導入機器は衛生面に優れていてマイクロバブル機能がついており、皮膚の弱い高齢者や薬品アレルギーの方でも安心して入浴でき清潔保持ができる。
- ・効率性が高まることで一日に入浴可能人数が増え、利用者のニーズに応えることに繋がる。
- ・機能的で使いやすい為、職員の介護負担が軽減となり、利用者支援の質が向上する効果が期待できる。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の新機種は、足元のゆとり空間が広くなり、大柄な方や足を曲げることが難しい方も入浴しやすくなりました。</li> <li>・操作を音声でサポートされるので、初めて操作する方でもスムーズに介助できます。</li> <li>・清掃時と入浴中のお湯を殺菌できる「殺菌（入浴中）」を搭載。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フルリクライニングで一人でも洗身可能（臀部の洗身も可）</li> <li>・対面入浴が実現し、向かい合う事で表情の確認ができたり、会話をしながら安全な入浴が可能です。</li> <li>・上肢用サイドサポート（パネル）で転落防止。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・洗浄力でくつろぎのマイクロバブル 水と空気のできた超微細な気泡が、肌のすみずみまで包み、身体の芯まで温めます。また、汚れや毛穴の奥の老廃物などを浮き上がらせるほか気になるニオイの元も洗い流します。</li> </ul>

#### 4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 社会福祉法人オレンジの会 (シャカイワクシリンジ ソウジツ カイ)

住所： 〒584-0053

大阪府富田林市大字龍泉877番78

E-mail： contact@orange.or.jp

URL： <https://www.orange.or.jp>

<自己評価1回目> ※黄色のセルをすべて記入してください。

項番		総事業 項目数	
----	--	------------	--

整理番号	2025M-	013	補助事業者名	(福)オレンジの会	事業項目名	福祉機器の整備
------	--------	-----	--------	-----------	-------	---------

## 別紙 JKA補助事業 2025年度 事前計画/自己評価書(4/5)

### 5. 補助事業の自己評価

作成日	2026	年	3	月	1	日	作成者	田村 美保
-----	------	---	---	---	---	---	-----	-------

#### (a) 個別項目評価

●個別の評価項目について、事前計画/自己評価書(3/5①②) 4. 事前計画 に対する達成状況等を把握し、分析・評価してください。					採点
(1) 受益者 (ニーズ)	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)				
(2) 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>メーカー名:酒井医療</li> <li>商品名:ライラックスプラス 浴槽 LA-560MR</li> </ul>				
	事業の新規性または継続の必要性				採点
	事業の発展性	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)			採点
	実施計画・体制	当初の事業計画と比べ、2回目の機種選定委員会の開催が1か月遅延したことと発注してから納品される迄に時間を要した為、全般的に計画よりも遅れが生じたものの、2026年2月3日に納品と検収は完了し、その後、介護職員に適切な操作方法の研修を実施し、2026年2月4日より新機種での運用が開始しました。予算の方は当初の予算通りに遂行されました。			3
(3) 達成目標	事業の実施結果	[達成状況]	[具体的内容]	採点	
	2026/2/3	100%	2026年2月3日に納品及び取り扱い説明、品質検査を完了し、安全で信頼性のあるサービス提供のための体制を整え、2月4日から運用実施しました。	4	
(3) 達成目標	事業の成果・波及	[達成値]	[具体的内容]	採点	
	延べ利用者264/月	91%	特殊浴槽(チェア型)導入後3月1日から3月31日までの一か月間で、延べ利用者240人でした。これは、この機器での入浴使用対象者が平均週2回利用したと仮定した1月あたりの延べ人数値であり、使用対象外となった方が3名いた為、目標値である264/月に対して僅かに至らない現状となりましたが、利用された方・介助した者からは高評価の意見を頂いています。今後も高水準のサービス提供を維持し、利用者の皆様に安全で快適なサービスを提供していきます。	4	
(4) 情報発信	事業の実施結果	[達成状況]	[具体的内容]	採点	
	1.施設お知らせ通信 2.ホームページに掲載	1. 80% 2. 30%	1.事前計画より導入予定が大幅に遅れ2026年2月3日に導入された為、家族様には毎月10日発送の郵送物4月10日に事業完了報告を同封し、関連事業所へも配布実施。 2.ホームページへの記載が大幅に遅れた。2026年4月27日に写真及び記事を記載。	2	
(4) 情報発信	競争・オートレス補助金による事業であること	[達成状況]	[具体的内容]	採点	
	1.施設お知らせ通信 2.ホームページに掲載	1. 80% 2. 30%	1~2. 上記の情報発信時には、常にJKA補助金による事業であることを明示する。	2	
(5) 自己評価の体制	補助金申請にあたり、未経験者ばかりのメンバー構成であったため、福祉機器導入計画予定よりも進行状況が大幅に遅れたが、自己評価結果については5月4日に法人ホームページに記載した。				3

#### (b) 総合評価

総合 評価点	4
-----------	---

●(a) 個別項目の評価から実施状況等を振り返り、事業全体を評価してください。	
(1) 事前計画 (2/5)記載の「補助事業の直接的な目的」を踏まえ、事業全体についての意見・所感	この事業では特殊浴槽(チェア式)1台と入浴用車椅子1台を導入しました。特殊浴槽の新機種導入により、入所者の健康維持の為身体の衛生保持と介護職員の腰痛予防等身体的負担の軽減を目的とし衛生的尚且つ効率的な質向上効果がみられました。今後も高品質なサービス提供を維持し、利用者の満足感の向上に役立てていきたいと思っております。
(2) 優れている点・課題、改善すべき点	<p>【優れている点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>導入機器は衛生面に優れていてマイクロバブル機能装備されており、皮膚の弱い高齢者や薬品アレルギーの方でも安心して入浴でき清潔保持ができる。</li> <li>機能的で使いやすいため、職員の業務負担が軽減となるなど、効率性が高まることで一日に入浴できる人数が増えた。</li> </ul> <p>【課題、改善点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>利用者からのフィードバックを積極的に収集し、サービスの改善に活かしていくことが今後の課題であり、素早い対応で行動をすることが改善していくべき点である。</li> </ul>
(3) その他、アピールしたい点、是非知ってほしい点	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者様及び家族様には、身体的状況が変化しても安全に入浴ができる環境があること。</li> <li>現職員又は入職予定職員には、介助者の身体的負担が軽減し、職員の高齢化への対応や労働環境の過酷さが改善する努力をしていること。</li> <li>法人としては、今後も引き続き、介護する側、介護される側両方のニーズに応えながら安心感と利便性を提供していく努力を継続していくこと。</li> </ul>

【福祉機器・医療機器】

整理番号	2025M-	013	補助事業者名	(福)オレンジの会	事業項目名	福祉機器の整備
------	--------	-----	--------	-----------	-------	---------

**別紙 JKA補助事業 2025年度 事前計画/自己評価書(5/5)**

**(c) 事業の促進・阻害要因の自己分析**

● 事業の目標達成を促進した、あるいは阻害した要因について、「要因分類」(1)~(15)の「促進」または「阻害」欄に「\*」を記し、要因の内容を a 欄に、阻害要因への対応あるいは今後この分析結果をどう活かすかを b 欄に、それぞれの要因分類の番号(1)~(15)を付して、具体的にご記入ください。

● 促進または阻害要因が無い場合には、(16) の欄に「\*」を記してください。

事業の促進・阻害要因の自己分析					
	促進	阻害	要因分類	a. 促進または阻害要因の具体的な内容	b. 対応、今後この分析結果をどう活かすか。
内部要因			(1) 経費		
		*	(2) 実施体制 (人員、関係機関の協力等の確保)	システム管理者の急な退職により、広報面に遅れが生じた。	システムに強い人材の確保に努める。
		*	(3) 資材調達 (事業実施に必要な物資等の確保)	商品発注後納品まで時間がかかった。	その時の世情にもよるが、予定の段階で発注から納品までの期間想定する際に猶予期間を設けておくようにする。
			(4) 実施期間 (事業終了までに要する期間)		
		*	(5) 事業運営のノウハウ (進捗管理、資金管理等)	補助事業者の担当制管理により、身近に相談ができ質問等もすぐに回答が頂けたことがスムーズに事業終了できた。	
			(6) 設計仕様の変更 (主に建築)		
			(7) その他		
外部要因		*	(8) 受益者の規模・ニーズ	利用者の入院やADL機能低下にて当該機器使用対象者が減数し予定していた目標値を達成出来なかった。	日常生活においてADL低下を予防していくことと新たな利用者を獲得し、稼働率確保に努めていく。
		*	(9) 実施体制以外の団体等の協力・支援	福祉用具取扱事業者がメーカー担当者に素早く連絡をとり行動してくれることで発注まではスムーズに実施できた。	
			(10) 関連法制度の変更		
			(11) 利害関係者 (受益者以外)の要望への対応		
			(12) 災害の発生 (地震、洪水等)		
			(13) 同様の技術開発		
			(14) 競合するサービス・事業の出現		
			(15) その他		
		(16) 特になし			